

て
い
る

ひとりの歌本下といろかんた

残念なびくひとつのかつしゝんた

よせの江いてまやび泣いて
キミとホク

とのわかれのちりし

これなかで二人の種子たわわ

昔 西条八十の詩集をよんだと
おれが

音楽をさく時 ままつかうといらと
作曲家の

名もいわれ

気をつけてきいて
みま

作詩をけあかす
鳴糸
といろ歌本

あつた 非常なドろ
び

また詩はよって
内容がよくあ

詩の本
よ

2022
10/22